



第6回・健康福祉部 (大仁庁舎内)

インタビューの内容

- Q1. 合併後の業務は順調に行われているか?
- Q2. 今後実施する大きな事業、または課題は?
- Q3. 市民の皆さんに一言

伊豆の国市の行政窓口をご紹介するこのコーナー。今回ご紹介する健康福祉部(杉山利雄部長)は、福祉課、高齢者支援室、健康づくり課の2課1室で構成されており、大仁庁舎1階にあります。現在の状況を、各課長にインタビューしてきました。

福祉課

(課長1人、課員14人)
電話 0558 76 8006

主な仕事
生活保護、障害者福祉、児童・母子福祉、少子化対策など

- A1. 市になって福祉事務所を設置し、たくさんの方が福祉課を訪れるようになりましたが、受給者証交付などの窓口受付については伊豆長岡・葦山支所の市民サービス課と共同で対応することによって、順調に業務を行っています。
- A2. 高齢者支援は当然大切ですが、一方で、障害者福祉と児童・母子福祉に重点をおくことも課題です。現代は、障害を持つ子どもが多く、育児環境が不十分な家庭など、子どもを取り巻く様々な課題が山積しています。今後は、子どものことなら何でも相談できる専門的な部署が必要になってくると思います。
- A3. 世の中には、自分さえ良ければいいという殺伐とした考えの人が多く。福祉とは、「個」ではなく「社会」で協力しあって幸せになることです。皆さんも『向こう三軒両隣』の精神で、周りを気遣う心を持って日々生活してください。(回答: 課長 濱口昭)



大仁庁舎1階の正面玄関に入って正面が福祉課、右隣りが高齢者支援室の窓口

高齢者支援室

(室長1人、課員10人)
電話 0558 76 8009

福祉事業の中でも、65歳以上の人たちのお世話(高齢者福祉)は支援室が担当し、高齢者福祉、介護予防、介護保険給付、要介護認定などが主な仕事です(室長 相川 健)。9月13~15日には敬老会を実施し(12ページ参照)、また、来年静岡で開催されるねりんピック2006も担当しています。

健康づくり課

(課長1人、課員16人)
電話 0558 76 8012

主な仕事
母子保健、成人保健、各種健診など

- A1. 母子保健は、葦山保健センターを中心に健診等を行っているため、合併当初は場所が分からない等の問い合わせがありました。育児相談等の新規事業を行うとともに、電話での勧奨等を行うことにより、受診率も合併前と同様の率になりました。
- A2. 従来は、二次予防(早期発見、早期治療)が中心でしたが、これからは一次予防(病気になるようにすること)を中心に考えていきたい。例えば、歯周病予防事業が6月に条例化されたことを受け、歯科医師会の協力のもとに「歯ミニング体操」の普及や、市民・民間企業と一緒に予防事業を展開します。
- A3. 「健康」とは、最終的には自分自身で維持していくことで、私たち行政にできるのはそのお手伝いです。市が開催する講習会等(8~9ページ参照)に積極的に参加して健康に対する知識や意識を高め、日常生活の中で、適度な運動・バランスの良い食事・ストレスをためないよう心掛けましょう。(回答: 課長 井川孝廣)



各保健センターで行われる成人保健、写真は女性対象の子宮がん・乳がん・骨粗しょう症検診



母子保健も、各保健センターで行われます。写真は1歳半~4歳児対象のフッ素塗布

次回は葦山庁舎内の教育部を紹介します。

いずのくくの女ひと

このコーナーでは、伊豆の国市内に住む、働くまたは縁のある輝いている皆さんを紹介していきます。

今回は、女子800メートル自由形で全国中学校水泳大会(全中)に出場した大仁中学校の2年生・太田早紀さんを紹介します。



おおた 早紀さん(三福)
太田 早紀さん(三福)

「小さい頃の私は、食欲不振だったそうです。心配した両親が、運動すればお腹が空くだろう、と三歳のときに水泳を始めさせたのがきっかけ」。以来、太田さんはプールとともに育ってきました。今では、ごはんは茶碗二杯、間食のパンもしっかり食べます。好きな食べ物はユッケ。ミスマスイミングクラブに所属する太田さんは、毎週火曜日は夜練習、土・日曜日は朝練習に、毎日電車ですべて通っています。ハードな練習でも、水泳をやめたいと思ったことは一度もないと言います。太田さん。唯一つらいのは大好きなテレビ番組『エンタの神様』を再放送等で見られず、学校の友達との話題についていけないこと。十年後

も水泳を続けているか、という質問には、「今は記録が伸びているから面白いけど、止まってしまうたらつまらなくなるので、きつと水泳をやめると思う」とクールな回答が、しばらくしてから「でも、趣味として続けていくかな」と付け足した。水泳はもはや彼女の一部分のようです。

太田さんの八百メートル自由形のベストタイムは九分二十二秒。目標は九分一ケタ台。「今年の全中は二十九人中十九位でした。来年は全中の決勝の舞台にあがるのが夢です」。同クラブの教え「気負わず力まず迷わず進め誠実の路」という言葉を体現している太田さん。今はひたすら前進し、自分自身に挑戦し続けてほしいものです。

みんなでチャレンジ! 広報クイズ

毎月、正解者の中から抽選で10人に図書券(500円分)をプレゼントします。皆さんのご応募お待ちしております。【応募方法】はがきにクイズの答えと住所、氏名(フリガナ)、年齢(学年)、職業、電話番号、身近な話題や感想、ご意見などを書き添え、10月14日(金)までに下記へお送りください。いただいたご意見などは、広報で紹介させていただく場合もあります。

あて先 〒410 2292 長岡 340 1
伊豆の国市 企画部 総合政策課

【先月の答えと当選者】答えは「動物愛護」。正解者は、85 / 85人でした。当選者は次の皆さんです。
【当選者: 敬称略】鈴木節子、藤井光子、和田恵二、鈴木智子、石川秋子、服部高子、遠藤美喜子、室伏博、谷口あき、小粥美枝子

《今月の問題》

熟語になるように真ん中に漢字を1つ入れてください。並び替えるとある文字が出てきます。

例

晩	秋	雨
晩秋		秋雨

伊		力
検		定
韓		立
順		律

答えは
ヒント: 5年に一度、日本に住むすべての人が対象です。皆さん、ご協力をお願いします!